

令和8年熊本地震で被災された皆さまに 心よりお見舞い申し上げます。

被害状況 ※9月8日現在

令和8年熊本地震により、八代市では20名の尊い命が失われ、147名の方が負傷しました。多くの住家も被害を受けました。さらには、道路や橋梁、上水道、井戸などのインフラに加え、事務所や田畑、文化財施設なども大きな被害を受けました。

概要

- ・7月28日(火) 16時27分 震度6強発生
(震源：熊本地方 マグニチュード7.1)
- ・ // 16時27分～ 非常配備体制(第3配備)
- ・ // 18時00分～ 避難指示(市内全域)
- ・ // 20時05分 第1回災害対策本部会議開催
- ・ // 16時27分 避難所開設
(9月8日現在 15ヶ所開設中 最大避難者数：4,095人)
- ・8月18日(火) 18時00分 避難指示解除



政府への要望活動(令和8年熊本地震に関する緊急要望)

一日も早い復旧・復興に向け、国による緊急かつ重点的な支援を要望するため、8月20日から8月21日にかけて、内閣府、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省を訪問し、要望活動を行いました。11月にも要望活動を行う予定です。



赤間内閣府特命担当大臣(防災海洋政策)

金子国土交通大臣

鈴木農林水産大臣



市長から市民の皆さまへ

令和8年熊本地震によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

発災から2ヵ月が経過しました。この間、多くのボランティアや自治組織、民間企業・団体、国、熊本県をはじめ、全国の自治体など、多くの皆さまから温かいご支援をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

今回の地震では、市内全域で深刻な被害が発生したことで、市民の皆さまにおかれましては、心身ともに大変厳しい日々を過ごされていることと思います。

特に、地震の影響により地下水が取水できない状況が多数発生しており、井戸水を利用している地域の皆さまにとって、生活に必要不可欠な水の確保が大きな課題となっています。本市では、この喫緊の課題に対応するため、国、熊本県、さく井事業者とともに井戸水対策チームを立ち上げるとともに、市役所内に新たな組織を設置し、専門的かつ迅速に復旧支援を進めているところです。

市民の皆さまの命と健康を守ることを最優先に、井戸の復旧をはじめ、住まい、生活、なりわいの再建に向けて全力で取り組んでおります。

今後も、復旧・復興に向けた取組や支援策について、見通しを含めて積極的に情報発信を行ってまいります。一日も早い復旧・復興に向け、市民の皆さまとともに前に進んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

八代市長 小野 泰輔



※発災日以降、市長から市民の皆さまへ日々メッセージをお届けしています。これまでのメッセージは市ホームページや公式 SNS に掲載していますので、ぜひご覧ください。



ホームページ



市公式 LINE



市公式 X



市公式 Facebook

飲用水・生活用水の確保および井戸の復旧に向けた支援体制を整備

<新たに設置した組織>

「地下水緊急対応」タスクフォース(市民環境部 環境課内)

「井戸復旧等支援事業推進室」(水道局内)

両組織がともに、生活に必要不可欠な水の確保に向け、復旧対策に全力を尽くしてまいります。